

例会報告 Rotary



青少年奉仕委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 下屋勝比古
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚本 直人
- 会報委員 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

来月4日には皆さんで、東山中学校「出前講座」に参加して、高山で仕事をしている喜びや楽しさを大いに語っていただき、高山で仕事をする若者をどんどん増やしていきましょう。いずれは、あの時の話が記憶に残っていて当クラブに入りました。なんてことになってもらえるといいですね？

私のところへ出前講座での話がきっかけで、トレーナーやリハビリの道を目指してくれた若い方が、訪ねてくることがあります。いい話だったかわかりませんが、その方の人生に影響を与えてしまったので、私は一層の精進をしないとイケませんね。

さて、私は少年時代から高山道場が近所にあったので柔道をやっていました。遠藤さんとは少年時代高校までよく稽古していただきました。指導者には接骨院の方がみえますので、怪我をするたびに「下呂膏」を貼ってもらえるのが嬉しかったことを覚えています。

そんな関係で、なんとなく人の怪我に興味を持つようになり、当時日本にスポーツ医学がどんどん盛んになってきたのでテーピングを巻いたり、ストレッチの本を読んだりして勉強していました。84年ロサンゼルス五輪の柔道男子無差別級決勝、山下泰裕対エジプトラシュワン選手の一戦。準決勝でふくらはぎに肉離れを起こした山下選手は、足を引きずりながら勝利し金メダルを取りました。また、92年バルセロナ五輪の柔道男子73キロ以下級の古賀稔彦選手は、吉田選手との練習中に痛めに左膝に注射を打ち、ハンガリーのハイトッシュ選手に判定で勝ち金メダルを取りました。

その時のチームドクターから怪我の程度やどんなケアをしていたのかなどの話を聞く機会があり、現場でのトレーナーの仕事を知っているうちに、そんな現場で仕事がしたいと決意し、力士をあきらめ一般の治療家ではなくトレーナーを目指すようになりました。

現在は、ローイングの日本代表やブラックブルズをはじめ、各種競技に呼ばれます。目の前で膝の靭帯を断裂するシーンで出逢いますが、如何に素早く応急処置をし、どれだけ早く復帰させるかを目指して取り組みます。スポーツの現場で最良の状態に仕上げた選手が活躍する姿は、近くにいる本当に感動します。

紅葉例会の翌朝3時に鹿児島に向かい、試合直前にベンチ入り予定です。なんとか選手が活躍でき、初戦の山口県には勝利できるようサポート頑張ります。

と東山中学では生徒たちに話す予定です。

<幹事報告>

◎ガバナー事務所より

- ・秋田豪雨災害支援金について 1,707,747円を
第2540地区(秋田)ガバナー事務所へ送金

◎高山あすなろ会より

- ・「第48回飛騨児童・生徒木工工作コンクール」実施報告
期日・会場 9月15日(金)~17日(日)文化会館3階講堂
出品作品数 小学生167点、中学生13点→会長賞の該当ナシ

◎田中 明 高山市長より

- ・乗鞍山麓五色ヶ原の森開山20周年記念事業いのちの森づくり(植樹)への参加について

日時	10月7日(土)	9:30~11:30	
会場	五色ヶ原の森案内センター	参加費	無料
申込	10月3日(火)までに環境政策課まで		
持ち物	軍手、タオル、帽子、長靴、飲物等		

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	-	24名	37名	68.58%

<本日のプログラム> 10月のお祝い

◎会員誕生日

(当日欠席 伊藤 松寿 10.1、長瀬 達三 10.25)



挾土 貞吉 高井 道子 水梨 弘基
10.1 10.11 10.4

◎配偶者誕生日(当日、ご自宅へ花束をお届け)

平 義孝 八重子 さん 10.21
内田 幸洋 博子 さん 10.31
高井 道子 一郎 さん 10.18

◎結婚記念日 写真左より



内田 幸洋 S51.10.25
平 康裕 H15.10.13
堀 幸一郎 H3.10.5

(当日欠席 田近 毅 S46.10.21、古橋 直彦 S46.10.18、門前庄次郎 S57.10.11)

例会報告



◎出席表彰
田中 武
18年

◎在籍周年
記念表彰 →
垣内 秀文
15年



◎3ヶ月表彰

井辺 一章、大屋 尚史、垣内 秀文、田中 武、
佐藤 貴史、下屋勝比古、杉山 和宏、中島 一成、
米澤 久二

青少年奉仕委員会

委員長 榎坂 純一

本日の青少年奉仕委員会担当例会は、来月4日の出前講座に先駆け、東山中学校の岩佐泰典校長先生に卓話をお願いしています。

岩瀬先生は昭和40年高山市の久々野町のお生まれ、今から35年前の昭和63年に教職に就かれました。そこから小学校や中学校、そして教育事務所などを経て、平成29年に清見中学校で校長先生に就任されその後令和5年、東山中学校の校長先生になりました。先生よろしくお祈りします。



今、学校で起きていること

東山中学校 校長 岩佐 泰典 先生

今AIが発達してきています。子供たちには、将来多くの仕事をAIに取られてしまう様な世の中になって行く状況で、なんの仕事するんや？色々経験して、感性を育ててそれを活かしていかないとAIに負けるぞ、と話しています。会員皆さんの企業でも職場体験を受けて頂き、また来週は出前講座をお願いしておりますが、それら含めたキャリア教育をしっかり進めていきたいと考えています。

今、部活動が大きく変わっていきます。とにかく子供が減っています。東山で言うと、10年で106人の子供が減りました。野球も一つの中学校で部活が持てませんし、部活の種類も減らざるを得ません。そして働き方改革。学校の先生も残業はダメと言われてます。月45時間、年間360時間以内に抑えなさいと言われてますが、守れている学校は本当に少ないです。先生方一生懸命残業してしまうので、管理側としてブレーキをかけなければならない。カリキュラムマネジメントが求められています。

マネジメントという、経営者の方々には当然の言葉ですが、学校にも5年前からこの言葉が出てきました。学校の教育計画をどうマネジメントするか、それを校長がちゃんと考えなさい、となっています。昔の校長先生は、僕の経験で言うと、校長先生芝刈っているなとか、何か雑用ちょっとやってるっていう、校長室に座ってコーヒー飲んだりお茶飲んで書類見るっていうそんなイメージだったんですが、今の校長は本当によくいろいろ動いています。

カリキュラム・マネジメント

学校の教育計画

ねらい：児童や学校、地域の実態を適切に把握し、編成した教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動（授業）の質の向上を図る

- ①教科等横断的な視点で組立て
- ②教育課程の評価・改善
- ③人的又は物的な体制を確保し、改善

あくまでも
手段

学習指導要領より

地域や学校をまず知らなアカン。それを色んな教科で何ができるか考えなければならぬ。そしてそれがうまくいっているかチェックする。だから授業を見て回ります。子どもの様子を見て回ります。地域も回ります。その上で必要な人材、物的なものを整えなければならぬ、と言う事が今の校長先生の大きな仕事です。

マネジメントという言葉でいうと、14~15年前に出た「もし高校野球の女子マネージャーがドラッグの『マネジメント』を読んだら」読まれた方いらっしゃいますか？その中に出てくるのはミッションとビジョンとバリュー。この三つの言葉を生かしてやるって話です。ミッションは使命ですし、それをまずやらなければならぬと考えます。ビジョンはどんな世界観を作りたいのか、何をやる？バリュー、大切にしたい価値観は何か。経営者の皆さん、こういうことをよくご存じだと思います。学校でもこういうことを入れなければいけない時代になったんです。

じゃあ学校でやるならどうなのかと考えましたが、学校のイメージだと、ビジョンは遠くを見る感じがして、ミッションで言うと今すぐやることかなと思って、ミッションとビジョンが違う気がしたんです。僕は清見中で、バリュー「価値」は子供がちゃんと相手に思いを伝えるっていう力をつけさせたい。「ミッション」は文科省の指定をもらったので人権教育をやる中で、「ビジョン」遠くのイメージは、清見の街を人権のまちにしたい。そういう流れで学校経営、カリキュラムマネジメントしました。学校発信で、町全体で人権を高めようと、僕が最初思っていたビジョンをまち協さんが受け継いで下さって、「人権尊重のまち清見」宣言の策定して下さいました。学校はとにかく目標が多いもんですから、このビジョンとかミッションとかバリューっていうのは、それを整理するために僕は使っています。

そのビジョンとかミッションを決める一つの目安に全国学力学習状況調査というものがあります。その中の質問項目で「夢や目標を持っている」に明確に「持っている」と答えた割合。去年のですけど、東山中では4割もいないんです。ですので、不登校の子も、ちょっとでも学校行ってみようとか、自分のやりたいことを見つけようとなってくれるといいなと、夢・目標を持たせることを今年のミッションとしました。夢がないというのは、日本全体の傾向がこうなんです。ちょっと古いデータで7年前のデータですが、日本の高校生で夢があるって答えてる子が67%しかいない。中国は99%、韓国でも83%、欧米なんか95~98とか、すごい高いんですね。でも、日本は何故か夢を持っているかって聞かれると低い。僕は今年と来年で定年なんですけど、キャリア教育に力を入れて教職を終わりたい。そう思って今進めています。

例会報告

キャリア教育に力を入れたい！

R5

・ドリームプロジェクト
キャリア教育の見直し
体系化



R6

・ドリームプラン
ドリームプロジェクトで
見直した内容を実践
・「ドリームノート」
東山ドリームサポーター
100人を目指す
・まち協力とのタイアップ

入学式やPTA総会等、色々な場でこの話はしているのですが、皆さんご存知の大谷翔平さん。夢を現実にするのに『マンダラート』を作って84の目標を記入する。子供にこれをやらせても無理だと思いますので一個紹介したのは、この中の運ってというのがあって、子供たちも話したんですけど、小っちゃなことでも継続してやっていけば変わって行くよね。例えばゴミ拾いや審判さんへの態度って、メジャーに行っても変わらずやってくるよね。こういうところからでも運って変わるんだから目標を大事にしよう、と目標を立てています。自分管理能力があるのか？人間関係形成能力があるのか？自分解決能力は？将来のキャリアを計画出来るか？この四つの目標を立てて、色々書かせて実際にやってみて、また直してっていうことをやっています。

あいさつ	ゴミ拾い	部屋掃除
道具を大事に使う	運	審判さんへの態度
プラス思考	応援される人間になる	本を読む

そうやっている中で、いつも恩恵ばかり受けてるんじゃなくて、近江商人の3方よし。自分だけいいんじゃなく、学校にも良く、子供や保護者にとっても良く、そして社会や地域にとっても良い事をやらなあかんよなって言うことで、この地域の高校の校長全部来てもらって夢の話をしてもらいました。高校側は自分の高校のアピールが出来て、中学としてはキャリア教育をやってもらえて、生徒にもメリットがある。

また、第一生命さんがお話を下さったのですが、人生ゲームをやりながら、消費者トラブルを学ぶ、というを家庭科の授業をやりました。保険会社は企業のアピールができる。学校は人生のことを教えてもらえて、子供もこういう学習で将来を考える事が出来る。

『教員のたまご発掘事業』。斐太高生に夏休み授業に来てもらって、先生をやってもらいました。教えてもらえる生徒にメリットがあるのはもちろん、先生を増やしたいっていう県教委にも、教える機会を得る事のできる高校生にも利がある。とにかく自分だけが得するだけじゃダメだってことは職員にも言っています。

ここまでどんな成果があったかということですが、去年と比べると夢を持っている生徒の割合が1割ほど伸びました。学校が楽しいって子もちょっと増えました。そして、ここが僕一番大事だと思うんですけど、地域や社会良くしたいという気持ちの子が増えています。この様にして、学校だけじゃなく、地域や色々な所も考えていくようにカリキュラムをつくってマネジメントしています。

最後になりました。この10月4日、西ロータリークラブさんにお越し頂きます。大変お世話になります。子供たちに夢目標ぜひ話っていたきたいと思っています。そして、その時ですが、100

名のドリームサポーターを募っていますので、任命書をぜひお渡しをさせて下さい。どうぞよろしくお願ひします。

<ニコニコボックス>

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

本日のゲスト東山中学校岩佐校長先生のご来訪を心より歓迎いたします。最近の教育現場でのエピソードや以前勤務された東濃地域と飛騨地域との教育観の違い等お話し頂ける事を楽しみにしています。どうぞ宜しくお願いします。

●榎坂 純一さん

岩佐先生のご来訪、心より歓迎いたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。卓話楽しみです。また10月4日出前講座よろしくお願ひ致します。

●挾土 貞吉さん

東山中学校長 岩佐先生の卓話楽しみです。よろしくお願ひします。高井道子さん、先月の新聞記事読ませて頂きました。ご苦労様です。頑張ってください。

●堀 幸一郎さん

「ノーサイド」ラグビー終了時の言葉です。試合が終われば滋味方、勝者敗者もなくただお互いの健闘を称える…とは言え勝利は気持ちの良いものです。今、ラグビーのワールドカップから目が離せません。頑張れ、さくらのジャージ 日本！！

●岡田 賛三さん、阪下 六代さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、米澤 久二さん、田中 武さん、鴻野 幸泰さん、杉山 和宏さん、高井 道子さん、中島 一成さん、佐藤 貴史さん

明日で9月も終わり、下屋・塚本丸の航海も第1四半期が過ぎようとしています。その間にロータリー財団補助金事業を立派に遂行され、内外から多くの賞賛を受けられました。杉山和宏実行委員長の多大なる貢献も讃えたいと思います。さて、今後の3四半期も当クラブの発展、向上のために、益々尽力されるよう応援させていただきます。

人間力を高める

第9回

過去を振り返り、未来に向かって

大屋 尚史

当クラブに入会させていただきはや4か月が経過し、この短い間だけでも、諸先輩方から様々なご指導を賜り、学ぶ機会をいただいていることに感謝しております。

私は勤務先が明治安田生命であるため、多くの先輩方のように企業の代表者ではなく、単に大企業の一拠点の代表者という立場です。会社では、30歳で初めて営業拠点長を拝命したとき、若輩者で、なにもかも、全くわからない状態でしたが、「明治安田生命(当時は合併前 明治生命)の地域の代表者であることへの強い自覚」を持つこと、「謙虚にして奢らず」との真摯なる姿勢を持ち続けることを先輩諸氏より教育されました。

それから26年の月日が流れ、別の職務も経験いたしました。常に周囲の方々からご指導賜りました。が、本来自分自身でしっかりと取り組み、実施すべき事項を正しく励行していたか、いささか不安になることもあります。

過去としっかりと向き合い、また、将来に向かって、困難に直面しても逃げずに、助けてくれる家族や仲間、諸先輩方に感謝しつつ、これから人間力を高める努力を継続していこうと思います。